



港区

# 学校教育 推進計画

Minato City School Educational  
Promotion Plan

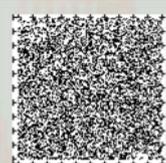
令和3(2021)年度～令和8(2026)年度

令和5(2023)年度 改定版

【概要版】

令和6(2024)年2月  
港区教育委員会

このマークは視覚に  
障害のある人などが  
使う音声コード  
(Uni-Voice) です。



# 第1章 計画の改定に当たって

## (1) 計画の目的

港区では、「港区学校教育推進計画」(令和3(2021)年2月策定)で掲げられためざすべき子どもの姿「夢と生きがいをもち、自ら学び、考え、行動し、未来を創造する子ども」の実現に向け、学校教育に関わる施策を推進してきました。

一方で、こども家庭庁の設置やGIGAスクール構想による児童・生徒1人1台のタブレット端末配備、アフターコロナを見据えた取組の実施等非常に大きな社会情勢の変化が生じています。

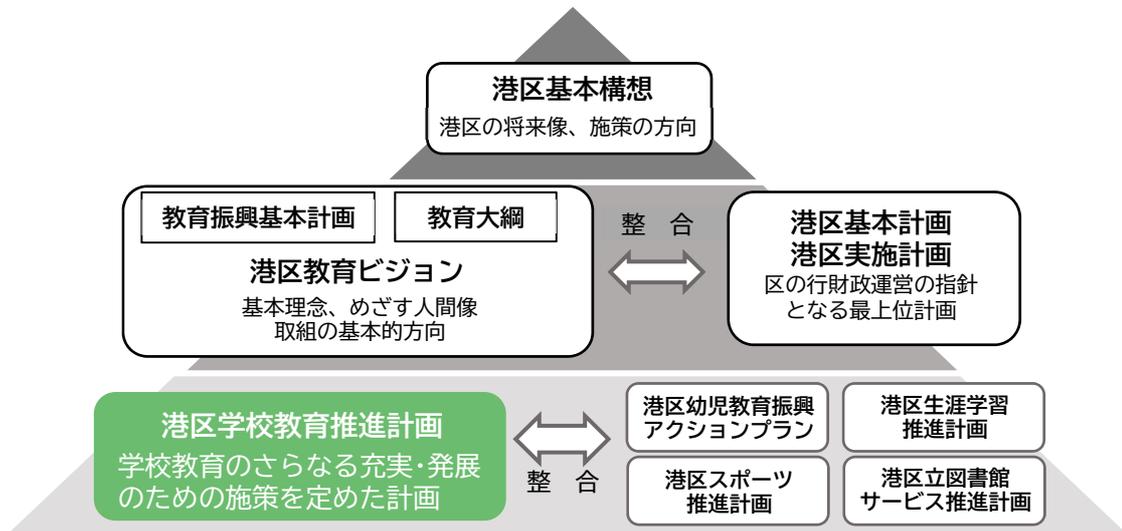
このような背景から、港区では「港区教育ビジョン(港区教育大綱)」の基本理念・方向性を踏まえつつ、学校教育を取り巻く社会情勢の変化や現状と課題に対応した施策を計画的に推進するため、「港区学校教育推進計画」を改定することとしました。

## (2) めざすべき姿

夢と生きがいをもち、自ら学び、考え、行動し、  
未来を創造する子ども

## (3) 計画の位置付け

「港区学校教育推進計画」は、学校教育分野における具体的な取組を推進するための基本的な考え方や施策を示すものです。また、「港区基本計画・港区実施計画」をはじめ、幼児教育や生涯学習、スポーツや図書館サービスなどの教育分野の各計画のほか、国際化、環境等の関連計画と整合を図ります。



## (4) 計画の期間

「港区基本計画」の計画期間と同様に、令和3(2021)年度から令和8(2026)年度までの6年間の計画とし、中間年となる令和5(2023)年度に見直しを行いました。



## 第2章 港区の学校教育に関する現状と課題

### (1) 社会情勢の変化

#### ① 新型コロナウイルス感染症の影響

コロナ禍によって浸透した新しい働き方や暮らし方を踏まえながら、アフターコロナに向けた取組を進める必要があります。

#### ② DXの進展

教育行政の充実や効率化に向け、AIやロボットなど、先端技術を活用した施策の推進が求められています。

#### ③ 総合的な子ども政策の推進

令和5(2023)年4月に「こども基本法」が施行され、こども家庭庁が設置されました。横断的に切れ目のない子ども・子育て政策を推進していく必要があります。

#### ④ 地域共生社会の実現に向けた取組

障害の有無や年齢、性別、国籍等を問わず、ともに支え合いながら、自分らしく生きがいを持って暮らせる地域共生社会の実現に向けた取組が求められています。

### (2) 国や東京都の状況

#### ① 令和の日本型学校教育

指導の個別化と学習の個性化に基づく「個別最適な学び」と、探究的な学習や体験活動などを通じた「協働的な学び」を一体的に充実していくことが求められています。

#### ② GIGAスクール構想の推進

「情報活用能力」を育成するとともに、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現に向け、さらなるICT機器の整備・利活用、ICT活用に向けた教員の資質・能力の向上が求められています。

### (3) 港区の状況

#### ① 区立中学校に部活動指導員を配置

令和5(2023)年度から、全ての区立中学校の全部活動に部活動指導員を配置しました。生徒が専門性の高い指導を継続的に受けられる環境を整えるとともに、教員の働き方改革を推進しています。

#### ② 区立小学校で教科担任制を実施

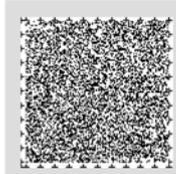
令和5(2023)年度から、小学校の高学年の教科担任制を全ての区立小学校へと拡充しました。授業の質を向上させるとともに、授業準備の効率化などにより教員の負担軽減につなげています。

#### ③ 国際理解教育の充実

令和5(2023)年度から、区立中学校3年生を対象にオンライン英会話教室を実施しています。「国際科」、「英語科国際」等の区独自の取組の質向上を目的として、教科としての英語科導入を踏まえたカリキュラム改訂などに取り組んでいます。

#### ④ いじめ防止

SNSトラブルの防止をテーマとした「いじめ防止講演会」の開催や、港区児童相談所や子ども家庭総合支援センター等の関係機関と連携しいじめの未然防止の取組強化、心理検査の電子化(WEBQU)などに取り組んでいます。



# 第3章 学校教育の推進（拡充事業・重点事業）

子どもの保護者や区立学校に在籍する児童・生徒を対象に実施したアンケート調査や、関連調査の結果等を踏まえ、港区の学校教育に関する現状と課題を整理し、めざすべき姿を実現するための施策展開の方向性として、4つの基本目標を掲げ、施策を推進していきます。

現状と課題	基本目標・施策
<ul style="list-style-type: none"><li>● さらなるいじめの発生防止と解消に向け「徳」を重視した教育が必要</li><li>● 個に応じた習熟度別指導の充実が求められている</li><li>● コロナ禍等によって低下した子どもたちの体力の向上</li><li>● 特別支援教育の一層の充実を図る必要</li></ul>	<b>基本目標1 「徳」「知」「体」を育む学びの推進</b> <ul style="list-style-type: none"><li>施策（1）豊かな心の育成</li><li>施策（2）確かな学力の育成</li><li>施策（3）健やかな体の育成</li><li>施策（4）インクルーシブ教育の推進</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● ICTの活用やみなと科学館を活用した理数教育の充実</li><li>● 幼・小中一貫教育に向けたさらなる指導の充実・発展</li><li>● 地域課題について子どもたちが「自分ごと」として捉える機会の充実</li><li>● 子どもたちの悩みに多様な方法で対応できる環境整備</li></ul>	<b>基本目標2 未来を切り拓いて生き抜く力の育成</b> <ul style="list-style-type: none"><li>施策（1）未来を創造する力の育成</li><li>施策（2）幼・小中一貫教育の推進</li><li>施策（3）地域の課題に向き合う意識を育む教育の推進</li><li>施策（4）相談体制の充実</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● コミュニティ・スクールを充実させるとともに、学校・家庭・地域社会が一体となった教育</li><li>● 日本語学級の拡充や日本語適応指導の指導方法の改善</li><li>● 語学力とともに、コミュニケーション能力、異文化に対する理解が必要</li></ul>	<b>基本目標3 地域社会と連携した教育の推進</b> <ul style="list-style-type: none"><li>施策（1）様々な団体との協働・連携による教育の推進</li><li>施策（2）国際社会に対応する教育の推進</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>● 教員への研修などを充実させるとともに、負担軽減を図り、教育活動に専念できる時間を確保する必要</li><li>● 児童・生徒数の増加に対応するとともに、学校生活における安全・安心対策の充実が必要</li></ul>	<b>基本目標4 学びを支える教育環境の整備</b> <ul style="list-style-type: none"><li>施策（1）学校の教育力の向上</li><li>施策（2）安全・安心で魅力ある教育環境の整備</li></ul>



内容を充実する事業、重点的に取り組む事業を、それぞれ「拡充」「重点」と表記しています。  
後期計画で新たに追加した事項を中心に記載しています。

## 基本目標1 「徳」「知」「体」を育む学びの推進

### (1) 豊かな心の 育成

#### いじめ防止推進事業の充実

本編 P68

重点

SNS等によって様態が多様化しているいじめの防止に取り組みます。  
子どもの人権を尊重し、誰もがいじめ問題の重大性を認識し、兆候をいち早く把握して迅速に対応するため、関連組織を活用し、いじめ防止のための対策を総合的に推進します。

### (2) 確かな学力の 育成

#### 基礎学力・活用力の習得

本編 P71

拡充

重点

高度な知的社会に対応できるよう、基礎学力・活用力の習得を図ります。  
放課後等の受験対策へのニーズを踏まえ、区立中学校の希望する生徒を対象とした進路支援を実施します。中学校入学直後からの学習支援を行うことで、生徒の希望や学力に応じた進路実現を図ります。

#### 学校図書館の充実

本編 P72

重点

多様な機能を有する学校図書館の充実を図ります。  
全ての学校図書館に「学校司書」を週2日、「学校図書館支援員」を週5日配置するとともに、学校図書館関係者を対象とした研修会の開催、区立図書館との連携強化等の取組をととして、学校図書館を活用した教育の充実を図ります。

### (3) 健やかな体の 育成

#### 健康な体づくり

本編 P73

重点

体力・運動能力の低下に対応するため、健康な体づくりを推進します。  
「MINATORIZMダンスフェスタ」の実施を公立、私立を問わず区内の小学校、中学校に周知し、児童・生徒の健康の保持増進と体力の向上をめざします。  
各幼稚園、小学校に設置したボルダリングウォールを活用し、基礎体力を高める取組を実施します。

### (4) インクルーシブ 教育の推進

#### 特別支援教育の充実

本編 P75

重点

地域共生社会の実現に向けて、特別支援教育の充実を図ります。  
発達障害等があり、学校教育や集団学習に不応を起している児童・生徒に対し、東京大学先端科学技術研究センターが開発した学習プログラムを提供することで、喜びを感じながら主体的に学びを進めることができるようにします。

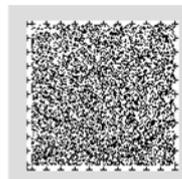
#### 特別支援教育体制の整備

本編 P76

拡充

重点

切れ目ない支援の充実のため、特別支援教育体制の整備を図ります。  
障害がある子どもを育てる保護者の不安や悩みに寄り添い、保護者が孤立せずに子どもの成長や将来を一緒に考えていけるよう、特別支援コンシェルジュを中心とした保護者のコミュニティ「みんなとCafeひだまり」を定期的で開催します。



## 基本目標2 未来を切り拓いて生き抜く力の育成

### (1) 未来を創造 する力の育成

#### ICTを活用した学びの充実

本編 P78

拡充

重点

1人に1台のタブレット端末を活用し、ICTを活用した学びの充実を図ります。教育クラウドプラットフォームの導入や、日本教育工学協会(JAET)と連携したICTを活用した教育の研究、プログラミング的思考力を伸ばす授業、デジタル教科書の活用などに取り組みます。また、情報モラル教育を行うことで、インターネットを利用した犯罪などの被害から児童・生徒を守ります。

#### 理数教育やSTEAM教育の推進

本編 P82

重点

港区立みなと科学館を活用した理数教育やSTEAM教育を推進します。大学の専門家を講師とする出前授業を各中学校において実施します。講師が開発した教材による観察や実験・講義をとおして、生徒が理科や数学の不思議さと奥深さを体験することにより、理数教育への興味・関心、学習意欲の向上につなげます。

### (2) 幼・小中一貫 教育の推進

#### 幼・小中一貫教育の推進

本編 P84

重点

アカデミーごとに関連した幼・小中一貫教育の推進を図ります。専門性の高い人材を区費採用講師として配置し、全ての小学校の高学年で教科担任制を実施することで、小・中学校の学習の円滑な接続に取り組みます。

### (3) 地域の課題に 向き合う意識 を育む教育の 推進

#### 環境教育の充実

本編 P86

重点

SDGsの達成に向け、環境教育の充実を図ります。全ての幼稚園、小・中学校にビオトープを配備し、身近な生き物の観察や飼育をとおして、その生態等について学ぶ環境学習を推進し、生物の多様性について新たな発見をする機会の創出を図ります。

### (4) 相談体制の 充実

#### 相談機能の充実

本編 P88

重点

子どもたちや保護者の悩み・不安の解消のため、相談機能の充実を図ります。各幼稚園、小・中学校でのスクールカウンセラーによる教育相談や教育センター相談員による相談体制の整備を推進します。全ての小・中学校にスクールソーシャルワーカーを週1日配置するとともに、学校からの要請に応じて派遣し、児童・生徒や保護者への支援の充実を図ります。ヤングケアラーについては子ども家庭支援センターのヤングケアラーコーディネーターとの連携を図ります。

#### 不登校対策の推進

本編 P89

拡充

適応指導教室(つばさ教室)などを活用し、不登校対策を推進します。タブレット端末を活用した面談や、モデル校における「校内別室」に取り組みます。一人ひとりに応じた体系的な支援を行うため、特別な教育課程を編成して教育を行う学びの多様化学校(いわゆる不登校特例校)の設置をめざします。



## 基本目標3 地域社会と連携した教育の推進

### (1) 様々な団体との協働・連携による教育の推進

#### コミュニティ・スクールの推進

本編 P91 重点

保護者や地域住民が学校運営に参画するコミュニティ・スクールを推進します。学校の自己評価に加えて、子どもたちからの評価をもとに、学校改善に向けた学校運営協議会としての支援策を検討し、質の高い教育の実現を図ります。

### (2) 国際社会に対応する教育の推進

#### 国際理解教育の充実

本編 P93 拡充 重点

国際社会に対応できる真の国際人を育成するため国際理解教育の充実を図ります。中学校3年生を対象にオンラインを活用した「放課後英会話教室」を実施します。これまでの海外派遣事業の成果を踏まえ、区立中学校3年生の全生徒が海外において英語を活用したコミュニケーションができる機会を創出する海外修学旅行を展開します。

幼児期から英語に慣れ親しむ機会を充実させるため、外国人講師の配置日数を拡充するとともに、全ての幼稚園に派遣します。

#### グローバル化への対応

本編 P95 拡充

グローバル化への対応として海外からの帰国児童・生徒や外国人児童・生徒の日本語活用能力を高めます。

日本語学級での指導の工夫や、委託事業による多言語に対応した日本語適応指導員の配置など、日本語指導の一層の充実を図ります。

## 基本目標4 学びを支える教育環境の整備

### (1) 学校の教育力の向上

#### 教員の指導力向上

本編 P97 重点

充実した学習指導や生活指導を行うことができるよう指導力向上を図ります。研究パイロット校(園)・奨励校(園)の指定や区内教員で組織する教育研究会、アカデミーにおいて実施する研究授業などをとおして、教員の指導力の向上を図ります。

#### 教員の負担軽減の推進

本編 P98 拡充 重点

教員が教育活動に専念できる時間を確保するため、教員の負担軽減を推進します。長期休業期間を中心にテレワークを推奨し、柔軟で多様な働き方を推進します。夏季休業中は2週間以上の閉校(園)期間を定めて地域や保護者に周知し、休暇等を取得しやすい環境をめざします。

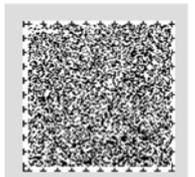
部活動指導員や、小学校教科担任講師、スクール・サポート・スタッフ等を配置し、人的支援に取り組みます。保護者対応や子どもの見守り、指導補助をするエデュケーション・アシスタントを新たに配置します。

### (2) 安全・安心で魅力ある教育環境の整備

#### 安全・安心な教育環境の整備

本編 P101 拡充

児童・生徒数の増加などに対応し、安全・安心な教育環境の整備を図ります。保護者の負担を継続的に軽減することを目的として、区立学校における学校給食費を不徴収とします。

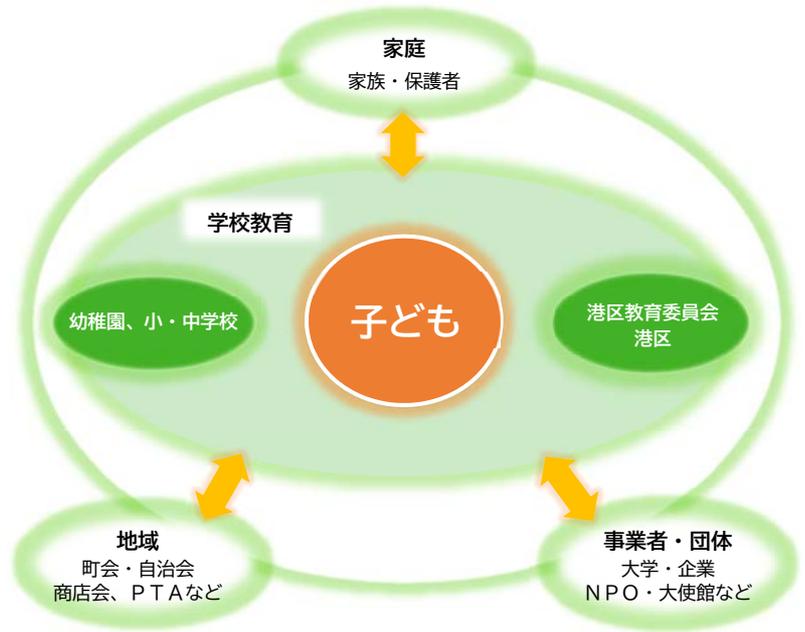


# 第4章 計画の推進

## (1) 推進体制

港区教育委員会・港区、幼稚園、小・中学校、家庭、地域、事業者・団体といった多様な主体との協働・連携により、本計画に掲げる施策、事業を着実に推進します。

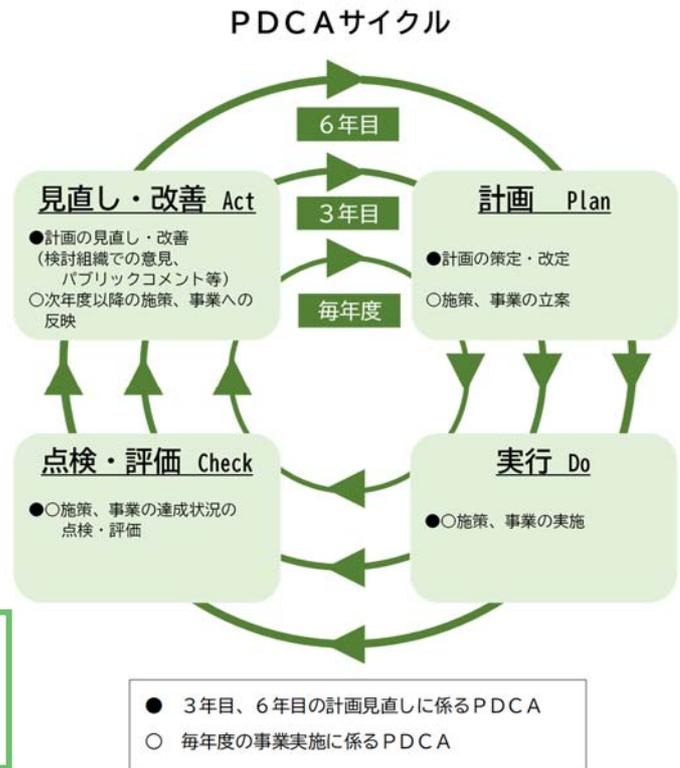
それぞれの主体がもつ強みを取り入れ、特色と魅力のある学校教育を展開します。



## (2) 計画の進行管理

本計画に計上した取組は、計画【PLAN】、実行【Do】、点検・評価【Check】、見直し・改善【Act】のサイクルで着実に推進します。

計画の最終年度となる令和8（2026）年度に、それまでの達成状況を点検・評価し、その結果を踏まえ次期計画の策定を行います。



港区学校教育推進計画は  
区ホームページからご覧いただけます。



刊行物発行番号 2023255-7370

港区学校教育推進計画（令和3（2021）年度～令和8（2026）年度）

令和5（2023）年度改定版【概要版】

令和6（2024）年2月

発行：港区教育委員会

編集：港区教育委員会事務局学校教育部教育人事企画課

港区芝公園一丁目5番25号 03-3578-2111（代表）

